

前向きに挑戦する福井の企業を応援します



F-FACT

ファクト > Fukui advanced companies' try

[特集] デジタルを学ぶ！ デジタルで遊ぶ！



Vol. 66



公益財団法人 ふくい産業支援センター

世の中の流れを 楽しみながらDX推進

今回紹介するのは、福井市を拠点に土木工事業を展開する明和工業株式会社。同社は7年前のSFA（営業支援システム）導入を皮切りに社内のDXを進め、営業基盤強化や働き方改革を推進しています。システム導入の経緯やその効果、DXに取り組む上での心構えなどについて、代表取締役社長の土本謙吾氏にお話を伺いました。

同社の受注形態は、自治体などからの元請け、大手企業などからの一
次下請けの両立て。受注には継続的な営業活動が不可欠ですが、同社の
社内文化は長らく紙文化の延長だったそうです。

「営業部門が見積額、受注・失注、工事の進捗などをエクセルに入力し
て、経営陣が月1回の経営会議で内

SFA導入を足掛かりに 企業活動の「見える化」へ



代表取締役社長 土本 謙吾 氏

9月に当支援センターが主催するイベント「グランドウデジタルアライブ」にちなみ、経営におけるデジタル活用やデジタル体験を通した教育事業に取り組む企業等を取材しました。

デジタルを学ぶ！ デジタルで遊ぶ！

Contents

表紙 産業情報センタービルの写真

特集 デジタルを学ぶ！
デジタルで遊ぶ！

- | | |
|---|-------------------------------------|
| 1 | 明和工業株
どっと混む福井 |
| 3 | SCSKニアショアシステムズ株
(一社)あわらテクノロジー協議会 |
| 4 | 学び舎Explorer |
| 5 | (一社)福井県eスポーツ連合 |
| 6 | C&Fコーポレーション(株) |
| 7 | グランドウ デジタルアライブのご紹介 |
| 8 | 11 今月の注目企業 (株)IRODORI |
| 9 | 13 よろづ支援拠点経営Q&A |
| | 14 総合相談窓口からのご案内 |
| | 15 ふくいDXニュース |
| | 16 人材育成部通信 |
| | 17 グッドデザイン シンキング |
| | 18 DXラボ勉強会レポート |
| | 19 インフォメーション |
| | 21 新スポット巡礼 |



覚えるのは面倒だ」「現場を知らない人のやること」などといった反発を想定し、三つのことを実行したそうです。
一つ目は、既存社員に兼任させるのではなく、SFA未経験の専任社員を雇用、育成したこと。二つ目は、システム上で表示される用語を同社全体を「見える化」できる仕組みを作れるべく、2017年、手始めにSFAの導入を決めました。

「会社の『数字』を一般社員も見られるようにして、社員にとって『分かりやすい会社』に進化させることを念頭に置きました。会社の取り組みが分かれば、社員各自、自分のやるべきことが見えるのではと考えたのです」

導入に当たっては、「新しいことを

の「共通語」に置き換えたこと。三つ目は、土本氏自らがSFA導入の意義を説明したことでした。

「SFAは社員の粗探しをする道具ではなく、営業マンの悩みや、クラインアントへの提案をみんなで考え解決するためのツールであることを強調しましたね」

導入の効果はてきめんで、2023年12月期決算の14億円（売上高）は、導入前の2016年同期比で140%の伸びとなりました。

「SFAは、いつ、どこで、誰が誰に会ってどんな提案をしたのかを日々記録するためのもの。社員同士や顧客との対話の活性化にもつながるツールなのです」



仮想オフィスサービスでコミュニケーション活発に

対話の活性化という点では、約3年前に導入したバーチャルオフィス『メタラライフ』も特筆に値するでしょう。これは、インターネット上に仮想のオフィスを開設するというサービスで、同社では社員間の交流だけでなく取引先との打ち合わせにも活用しています。

同サービスはスマートフォンでの利用もでき、現場や移動中の車内など、場所を選ばずにコミュニケーションをとれるのがメリット。福井と滋賀に拠点がある同社ではサービス導入後、双方の社員がネット越しに気軽に交流している様子も日常的な光景になりました。

「社員はほぼ現場にいるのに、オフィスにデスクや椅子を用意する必要があるのか」という疑問も導入の背景にありました。不必要的ものを維持するのではなく、より効果的な投資をすることもDXではないでしょうか」



の旗振り役となってきた土本氏。DX推進に当たっての心構えをどう捉えているのでしょうか。

「企業は社会の中にある、常に時代に合わせて進化する必要があると考えます。ペテランになると『慣れているから困っていない』『新しいことは覚えたくない』という発想になりがちですが、『今までと同じでいい』という意識はありません。DXは、社会の課題に向き合い解決するための武器です」と力を込めます。

他方で、「新しいアイデアはフレッシュな若者から生まれる」とも。ベトナム人の若手社員採用のために現地を訪ねた際、前向きな若者を目の当たりにしたことが背景にあるといい、「若手の新しい発想を取り入れ、企業活動に生かす柔軟さが経営者には求められる」と話します。

若い人が親しんでいる物に興味を持ち、遊んでみることを欠かさないという土本氏は、オンラインゲームにも熱中したという経験の持ち主。「DX推進にも当てはまりますが、世の中の流れを楽しむことこそ経営者に求められるマインドなのでは」と笑顔を見せます。

DATA

明和工業株式会社



所在地
福井市上中町 26-36-1

代表者
代表取締役社長 土本 謙吾

事業内容
法面保護工事、グラウンドアンカー工事、切土補強工工事

電話番号
0776-54-6665

URL
<https://www.meiwakougyo.co.jp/>

同社HPは
コチラ!



13日
(金)

どっと混む福井
ECセミナー

事例発表を中心とした
EC成功のための実践的
セミナーを予定して
います。



セミナー
主催: どっと混む福井

価値ある情報提供で 競争激化を生き抜く力に

福井県内のネットショップオーナー等により組織されている福井インターネット通販研究会「どっと混む福井」。どっと混む福井は2000年から継続して活動しており日本でも有数の活動歴を誇ります。今回は、2024年度の会長に就任した盛岡良行氏に、その活動とネットショップの現在についてお話を伺いました。



会長 盛岡 良行 氏

—どっと混む福井の活動内容について教えてください

毎月の定例会を中心に、「シェア(共有)」をテーマとして活動しています。セミナーによる情報のシェアはもちろんですが、会員同士の事例共有を重視しています。最近はオンラインセミナーも多いですし、知識の習得だけならYouTubeでも可能ですが、会員間での情報共有を増やすから、会員間での情報共有を増やして、オープン情報だけでは得られない、濃い情報をシェアできる会にしたいと考えています。

実践する仲間からの 情報に価値がある

—具体的にはどういう取組をされましたか

県外講師によるChatGPT講座を実施した翌月に「実践報告会」を実施しました。報告会では、「Ch

a t G P T で広告文を作成した」「S E O 対策で使っている」「クレーム対応でのメール文作成で活用している」など講座の内容を実践した結果をシェアしました。

—クレーム対応に使うというのは面白いですね

そうですね。「クレーム対応は、社員に負担をかける場合があるのでChatGPTに書いてもらつたらどうかと思った」のがきっかけらしく、私は思いつかない新しい発想でした。その他、ユーザーレビューに全部返信している会員もChatGPTの支援を受けているそうです。個人的には、「全てのレビューに返信するのは大変でできない」という先入観があったので衝撃を受けました。

—競争が激化する今だからこそ 価値がある活動

—最近のネット通販の状況をどう思っていますか

コロナ禍を経て、ネット通販も成熟期に入り、競争が激化しています。これからネット通販を始める方には厳しい状況だと思います。漫然と

at GPTで広告文を作成した」「SEO対策で使っている」「クレーム対応でのメール文作成で活用している」など講座の内容を実践した結果をシェアしました。

—ネットショップには可能性もあるが、競争も激しいということですね

そうですね。継続して成長するには、自らが実践して、自社にノウハウをためていくのが必要です。そういう意味で、どっと混む福井の活動は地味ではあるけれど大事なことがあります。

—なるほど。競争が激化する今だから大事な活動ということですね。ありがとうございました。

やつてみるというだけだと成功は難しいかもしれません。自社のビジネスに何らかの強みを見つけてネットショップに反映することが必要だと思います。

DATA

どっと混む福井 (福井インターネット通販研究会)

URL

<https://dotcom-fukui.com/>

※活動についての詳細・お問い合わせは
公式サイトから受け付けています。

HPは
コチラ!



14日
(土)

ワークショップ

主催: SCSKニアショアシステムズ株式会社

紙飛行機で学ぶ
アジャイル思考



- 不確実な時代を生き抜く
力を持つ
成長するアジャイル
チームを体験できる
ワークショップです。

DX推進をテーマに 地域貢献に取り組む

同社は2001年に株式会社福井CSKとして設立され、合併等を経て、現在のSCSKニアショアシステムズ（本社 東京）へ。福井開発センターを含め、全国11県12拠点を構えて、主にSCSKグループで請け負う業務のシステム開発及び運用保守を担っています。2023年度に設置した地域共創課の笠松理衣氏と本部長付の高岡一敏氏に話を伺いました。

同社が地域共創課を立ち上げたのは2023年度。立ち上げのきっかけは、SCSKグループ全体を通して社会課題に目を向ける方針が決まつたことです。従来同社では、親会社であるSCSK株式会社が顧客から業務を直接請け負っていたため、顧客や地元との接点が限定的でした。こうした状況を改善し地域の社会課題解決に組織的に取り組むため新設したのが地域共創課です。

2022年12月に社内でモチベー

新たな体制で 地域貢献を考える



笠松 理衣 氏



本部長付 高岡 一敏 氏

自治体と地元の DX推進に取り組む

同社では、福井県の「CO-FU KU」未来技術活用プロジェクトに応募し、同社としての地域貢献の取り組みをすることや、福井市が取り組む自治会のデジタル化の支援に関わり、地域のDX推進に取り組もうとされています。福井市円山地区においてオンラインホワイトボードを活用し業務整理を行つきました。また福井市と共同でまちのデジタル化を考える企画を予定していました。様々な地域貢献の形をできないか模索されているそうです。

そこで、モチベーションやエンゲージメントを上げるために、地元の方と関わりを持つことがよいのではないかと考え、地域のDX化に関する取り組みを開始。特に近年は、地元への恩返しや地域貢献を当たり前と思う世代が入社しており、若い世代も少しずつ巻き込んでいきたいと考えているそうです。

アンケートを実施したところ、地域の仕事に興味を持ちながらも地域貢献ができるないと感じる社員が想定以上に多かつたそうです。

そこで、モチベーションやエンゲージメントを上げるために、地元の方と関わりを持つことがよいのではないかと考え、地域のDX化に関する取り組みを開始。特に近年は、地元への恩返しや地域貢献を当たり前と思う世代が入社しており、若い世代も少しずつ巻き込んでいきたいと考えているそうです。

DATA

SCSKニアショアシステムズ株式会社

所在地

本社 東京都江東区豊洲3-2-24 豊洲フォレシア
福井開発センター 福井市春山1-1-14 福井新聞さくら通りビル

代表者

代表取締役社長 中島 英也

事業内容

ソフトウェア開発・保守

電話番号

本社 03-6772-9090

福井開発センター 0776-27-1354

URL

<https://www.scsk-nearshore.co.jp/>

同社HPは
コチラ！



「地域活動の延長線上で、ゆくゆくは地域顧客と相対して声を聴ける環境も作っていきたいですね」

全国の各拠点でも取り組みがスタートしつつあるようですが、県や市・町など地域と一緒にになって、という例は全国的に見ても福井が初めてのようです。福井がモデルになれば、この手法を横展開したいと期待を語ってくれました。

15日
(日)

イベント
主催: コアット

親子で参加!
ドローンでお菓子つり

ドローンで
お菓子のつかみ
取り体験!



テクノロジーを通して 子どもたちが社会と繋がる場を

10~18歳を主な対象にデジタルクリエイティブな活動ができる施設「まぜテクネ」が、2024年3月オープンしました。イラストレーター、フォトショッピング等のソフトを活用して自由に創作ができるほか、配信スペースや3Dモデリング等の設備も備えています。

まぜテクネを運営する一般社団法人あわらテクノロジー協議会 代表理事の齋藤恭子氏にお話を伺いました。

特集

デジタルを学ぶ! デジタルで遊ぶ!

さいとうきょうこ



代表理事 齋藤 恭子 氏

いまの子どもたちが 参加しやすい施設に

休校中のあわら市新郷小学校の校舎の一室を利用してオーブンした同施設は、元来、齋藤氏がプログラミング教室をしていた場所でした。知り合いから休眠預金活用事業を進められたことがきっかけで、現在の事業を開始しました。

計画段階では具体的な体験内容が決まっておらず、「いまの子どもたちが興味を持つコンテンツを用意する点が特に苦労した」と齋藤氏は振り返ります。

知り合いの中高生へのヒアリングや運営スタッフからのアイデアを取り入れていき、現在はキャラクター、デザイン、グッズの作成やVtuber配信ができる環境など様々なテクノロジー機器を使用できる、クリエイティブ活動を行う空間となっています。タブレットやノートパソコンの使用はもちろん、イラストレーター、フォトショッピング等有料のソフトも無料で使用できる点は大きな魅力で、クリエイティブを通して、子

どもたちの自己表現の場としても活用されています。あわら市在住の方に限らず利用ができ、現在利用している6割が女子と、男女問わず参加しやすい居場所。予約は不要で土曜日にふらっと見学に来られる方もいるようです。

子どもの未来へ可能性と 交流を広げる場にしたい

人や地域、社会を「まぜまぜ」し

たいという想いとテクノロジーの語合わたした名称の「まぜテクネ」には、小学生→高校生の学年を超えての交わり、スタッフの大手や親との交わりの場にしてほしいという思いが込められています。「性別や学年、学校に通っているか否か、障害等を含めた特性などによらず、テクノロジーを皮切りにまざり合う場になれば」と齋藤氏。また当施設は子ども本人の主体性を特に重要視しており、既定のカリキュラムは存在せず、子どもが興味を示したテクノロジーから学び始めてもらう仕組となっています。教えるのではなく、動画で検索したり本を読んだりと自身で調べて学び、興味を追及できる場です。

今後について「社内でのデザインや3Dモデリング等は実際に企業でも必要とされているため、将来まぜテクネ内の子どもとスタッフの交流に留まらず、県内企業と子どもたちが繋がる場

にしたい」と齋藤氏は意気込みます。

また、個人の活動として、「私はコアットというプログラミング教室も運営していて、昨年、産業情報センターで子ども向けのドローン体験を実施しました。参加した子どもたちからも楽しかったとの声を聞いています。今年も企画していく親子で参

加でき、楽しくデジタルに触れるイベントにしたいです」と笑顔で語ってくれました。

DATA

一般社団法人あわらテクノロジー協議会

所在地

あわら市中浜1-1

代表者

代表理事 齋藤 恭子

事業内容

まぜテクネの運営

まぜテクネ開館日

月曜日 15:00 ~ 20:30

水曜日 13:00 ~ 20:30

土曜日 10:00 ~ 17:00

メール

maz.a.techne@gmail.com

URL

<https://www.instagram.com/maz.a.techne/>

同社HPは
コチラ!



15日
(日)

ワークショップ
主催：学び舎Explorer
親子ドローン
プログラミング教室



プログラミング教室を通して子どもの探究心を育む

2018年より小学1年生～中学生を対象としたプログラミング教室を運営する学び舎 Explorer。ゲームをする感覚でプログラミングを楽しく学べるカリキュラムを整え、近隣の小・中学校の子どもだけでなく、福井市全域、遠方は越前市からも子どもたちが集まっています。

プログラミング教室開講の経緯と教育への想いを代表の津田亨氏に伺いました。

同社がプログラミング教室を立ち上げたのは2018年。当時は福井県内でプログラミング教室を開いていたところは多くありませんでした。以前は学習塾で勤務していた津田氏は、集団指導の塾で教育に携わる中、子どもたちの個性や気質にあわせて教育を開講を決意しました」と当時を振り返ります。

その考え方から、同社ではベースとなるテキストは用意していますが、単にテキストの内容に取り組むだけでなく、子どもが興味をもてば、少し先のカリキュラムでも構わず挑戦してもらうように各自のペースに合わせた運営としています。

さらに、自主性を育むために、1テーマに対して複数回時間をかけて探究していく探究ラボというカリキュラムを用意。これは子どもがより興味を持ちそうなテーマを題材とした課題を授業毎に配布し、さらに

上記の通り、集団指導ではできない個別指導型の教室開講もどかしさを感じていたそうです。「集団指導では子ども1人1人の興味等を反映して教えることができない」と子どもたちの個性や気質にあわせて教育を開講を決意した」と当時を振り返ります。

集団指導ではできない個別指導型の教室開講



代表 津田 亨氏

教室での経験で人生の選択肢を豊かに

深く学ぶことで探究心を育むことを目的としています。また、子どもが作成したプログラムの中で、面白い発想等、紹介したいと思ったものは動画で紹介して他の子どもの興味をそぞろように取り組んでいます。



今後の事業展開について津田氏は、「子どもが楽しく学べるツールをもつて、遊びを通して、子どもの興味の幅や人生の選択肢を広げられる場を作りたい」と意気込みを語ります。

DATA

学び舎 Explorer

所在地

福井市渕 3-401 やまや会館 2F 南室

代表者

代表 津田 亨

事業内容

プログラミング教室、ロボット教室の運営

電話番号

0776-59-3900

URL

<https://www.manabi-explorer.com/>



同社HPは
コチラ!



誰もが参加できる垣根のない
スポーツで地域や人を元気にしたい

eスポーツとは、「エレクトロニック・スポーツ」の略で、コンピューターゲーム、ビデオゲームを使った対戦をスポーツ競技として捉えた名称です。2023年には世界大会「オリンピックeスポーツウィーク」が話題となりましたし、近年では福祉分野でもその活用が注目されています。福井県内でのeスポーツを統括し、各所と連携しながら発展・普及振興を行っている一般社団法人福井県eスポーツ連合の事務局長の澤田英之氏にお話を伺いました。

**年齢、性別、障がいなどの垣根なく
参加できる特徴を活かして**

我が国でeスポーツが浸透し始めたのは、複数の関連団体が統合された茨城国体の文化プログラムとして第1回大会が開催された2019年頃です。以降、国体では毎年継続されこれまで関心のなかった層にも認知されるようになりました。「eスポーツ部門ができるなど総合スポーツの一つとして早い時期に認知を拡げていきました。いまでは市町や団体等と連携しては年間数十回の催しを開催。国体の地方予選のような大きな大会をはじめとして、市町や公民館の夏祭りの企画コーナーなどで呼ばれる機会も増えています。

国体文化プログラムを契機に
総合スポーツの一つとして認知



事務局長 澤田 英之 氏



ロビーに飾られた福井ユナイテッド
eスポーツ部門のユニフォーム

活動をつうじて地域の活性化や若者活躍の場をつくりたい

他県ではeスポーツを観光誘客に結び付けているところもあります。福井で全国大会が開かれたり、福井駅近くで整備計画が進む多目的アリーナにeスポーツコーナーが設置されたらと想像するとワクワクします。

活動をつうじて地域の活性化や
若者活躍の場をつくりたい

また、認知症予防やフレイル予防に役立つという研究結果もあり、高齢者福祉施設などでもレクリエーションに取り入れるところが出てきました。福井県は3年前から機材整備等の費用負担を行つていて、これらの施設でのeスポーツ活用促進に積極的目的です。

一方で、ビジネス関連では、福井商工会議所が社内の親睦と異業種交流を目的としてeスポーツをとおした会員企業の交流会を2022年から開催しています。若い層の参加を増やしたいということで開催したところとても好評で、今年度も第3回の実施を予定しています。上下関係や部署の垣根なく参加できるので、従業員のコミュニケーションにも活用が期待されています。

ますし、こうしたことに企画段階から若い方が参加して、計画を進めていけると良いですね。運営スタッフにはどちらかというとコミュニケーションが苦手な子もいまして、活動を通じて仲間と打ち解けて成長していく姿も見ています。活動が拡がつて、そんな場をもつとつくりていきたい。そのためには、県内各地に拠点が欲しいです。空き家の有効活用も含めて、レンタルスペースとて興味をもつてくださる企業様があれば、ぜひお声がけください。

一般社団法人 福井県eスポーツ連合

所在地
福井市問屋町 3-410 福井テレビ内

役員
会長 前田力

事務局長 澤田
吉樹

事業内容

eスポーツの普及・
URL
<https://fesu.info/>

HPは
コチラ！



特集 デジタルを学ぶ！ デジタルで遊ぶ！



デジタル活用を通して働きやすい職場環境を

国内・国際物流に関する手続き処理システム、店舗管理、POSシステム等の事業の開発等を行っているC&Fコーポレーション株式会社（本社 東京）。2023年3月に福井オフィス（福井市）を開設し、新たに1次産業に関わるIT需要の調査等を開始するなど事業拡大にも取り組んでいます。今回は代表取締役の小口弘氏と福井オフィスの松村高志氏にお話を伺いました。

2016年3月に創業し現在8年目の同社は、2023年3月に福井オフィスを開設しました。開設のきっかけとなつたのは同社の従業員構成です。現在の東京本社と福井オフィスであわせて約20名の従業員が勤務していますが、実際に1／3が福井出身の従業員だそう。将来彼らが親の介護等で福井に戻らなければならなくなつた際に発生しうる離職等の課題に対して、会社が福井にオフィスを持つことで、退職ではなく、異動という形で残つてもらえるのではないかという考え方からでした。

また小口氏が、流通業の他に1次産業分野のIT活用にも興味を持つており、「1次産業の業種に参入してIT活用の可能性を模索していきたい」と考えていたことから、農業が盛んな福井に可能性を感じたという事情もあつたようです。

小口氏は「東京に来ないと仕事ができないのではなくて、地元に居ていい仕事ができる職場環境を作つてみたい。全国各地へのオフィス開設も考えていて、より柔軟な働き方が

2016年3月に創業し現在8年目の同社は、2023年3月に福井オフィスを開設しました。開設のきっかけとなつたのは同社の従業員構成です。現在の東京本社と福井オフィスであわせて約20名の従業員が勤務していますが、実際に1／3が福井出身の従業員だそう。将来彼らが親の介護等で福井に戻らなければならなくなつた際に発生しうる離職等の課題に対して、会社が福井にオフィスを持つことで、退職ではなく、異動という形で残つてもらえるのではないかという考え方からでした。

その一方で、実際に使用される生のシステム系に触ることで、学校でも塾でも知ることができない現場感を体験できる子ども向けのイベントを試案中だそうです。今まで苦労していたことがITを活用することで効率化され、楽になるという可能性に気付いてもらいたい。また、そうしたことを実現できるITという業種に早い段階から興味を持つきっかけにしてもらいたい。まだまだ構想の段階だそうですが、昨今の人手不足に対する危機感も踏まえた、想いが込められています。

9月に福井県産業情報センターで開催する「グランドウデジタルアラブ2024」では、レゴブロック（予定）等の玩具を活用し、遊び感覚

**福井オフィスを開設！
より柔軟な働き方を目指して**



代表取締役 小口 弘氏

できるようにしたいです」と想いを語ります。

IT活用の興味を持つて もらえるきっかけを作る

でデジタル体験してもらうイベントを企画中。楽しく、たくさんのデジタルに触れる機会をつくりたいと意気込みを語つていただきました。

「グランドウデジタルアライブ2024」

最終日は親子でデジタルを体験しましょう！

本誌P9で紹介するデジタルイベント「グランドウデジタルアラブ2024」の最終日、9月15日（日）はデジタルを体験できるイベントを多数ご用意しています。このページでご紹介したC&Fコーポレーションさんのイベントのほか、ドローンプログラミング教室（P6の学び舎Explorier主催）やドローンでお菓子つり（P6の学び舎Explorier主

DATA



C&F コーポレーション株式会社

所在地

本社 東京都江東区千石 3-3-18 CF Oneビル
福井オフィス 福井市中央 3-5-15
フロンティア福井（3F-E号室）

代表者

代表取締役 小口 弘

事業内容

ソフトウェア開発、プロダクト開発、インフラ構築、プロダクト販売

電話番号

本社 03-6666-8915
福井オフィス 0776-50-7514

URL

<https://candfcorp.co.jp/>

同社HPは
コチラ！





デジタルを学ぶ! デジタルで遊ぶ!4日間

デジタルをテーマとしたイベント
「クマンドウ デジタルアライブ」を開催します！

デジタルの“いま”を紹介するイベント「クマンドウ デジタルアライブ 2024」を、9月12日（木）～15日（日）の4日間、福井県産業情報センターを会場として開催します。

昨年度「KUMANDO WEEK2023」として開催し、1000人を超える多数の方にご来場いただいたイベントをバージョンアップ。会場の福井県産業情報センターが30周年を迎えたことから名称も一新、30を超えるセミナーや体験イベントなど昨年以上に学べる、遊べるイベントをご用意しています。

デジタルを学び、遊ぶ（=体験する）4日間。多数のご参加をお待ちしています！

名 称 クマンドウ デジタルアライブ 2024 [クマデジ]

会 期 令和6年9月12日（木）～15日（日）

9月12日・13日「ビジネス SIDE」

9月14日・15日「おもしろ SIDE」

参加無料

会 場 福井県産業情報センター

記念講演

9月12日(木)

**【第1部】先端テクノロジーが社会や産業を
変えていく未来をビジョンする**

講師 作家・ジャーナリスト

佐々木 俊尚 氏



生成AIや自動運転、ドローン、ロボットなど21世紀に入って先端テクノロジーが猛烈な速度で進化しています。この先にテクノロジーはどう変化し、それが社会や産業、教育にどう影響を与えていくのか。その可能性の翼を広げ、未来ビジョンを語り尽くします。

**【第2部】AI時代のリスクリング
～成長事業を担う人材育成～**

講師 (一社)ジャパン・リスクリング・イニシアチブ 代表理事

後藤 宗明 氏



2023年度の世界デジタル競争力ランキングで日本は32位まで下がる中、ChatGPT等の生成AIの浸透により、従来業務の自動化が急速に進みます。

最新テクノロジーやリスクリングの手法について触れながら、経営、人事のリスクリング推進に必要な「7つのアクション」を解説します。

開催イベントの一例をご紹介

いずれも 参加無料

ビジネスSIDE

企業経営や業務で活用できるITツール・デジタル技術のセミナー等を集中開催!

9月13日(金)

■デジタル人材活用セミナー

バックオフィス部門におけるDXの巻

主催 ふくいプロフェッショナル人材総合戦略拠点

働き方改革の推進等で多くの企業が業務の見直し・改革に取り組んでいるバックオフィス部門をテーマに、副業・兼業人材を活用した事例からその効果等解説します。



■使わにゃソン!Power Automateにおまかせ

主催 SCSKサービスウェア株式会社

■採用、営業、企画分野の生成AI活用セミナー

主催 株式会社Better WEB



■未来を形作るAI

～研究から社会実装までの
LLM活用事例～

主催 テックファーム株式会社

■嘘か真か～フェイクメディアの脅威～

主催 福井工業大学



■サイバーセキュリティセミナー

主催 福井県警察

おもしろSIDE

一般・学生の方や親子で参加される方に、楽しくデジタル技術に触れていただける2日間

9月14日(土)

■発信力を高める!

TikTokセミナー

フォロワー540万人を誇る料理系動画クリエイター
ケンティー健人 氏が登壇!!



■個人開発で100万本以上の大ヒット!

制作者が語る ゲーム制作の舞台裏

「PICO PARK」制作者が
ゲーム制作の舞台裏を語ります！


■紙飛行機で学ぶアジャイル思考

- 不確実な時代を生き抜く力を身に付ける -

主催 SCSKニアショアシステムズ株式会社

■あなたの言葉に自信を。

ラジオから学ぶトーク術

講師 フリーANAウンサー 堀内 くみ子 氏

9月15日(日)

■親子ドローン

プログラミング教室

主催 学び舎Explorer



■小学生対象!

はじめてのプログラミング
体験教室

講師 Hana道場

■きて みて さわって

デジタル屋台村(予約不要)

共催 C&Fコーポレーション株式会社

■eスポーツ体験会(予約不要)

共催 福井県eスポーツ連合

協力 仁愛女子高等学校eスポーツ部



このほか 4日間で30を超えるイベントを開催します。

開催イベントの情報は順次【追加・更新】していきます。

【最新情報や参加申込はこちら】

クマドウ デジタルアライブ 2024 特設サイト

<https://www.fisc.jp/kumadigifes/>



Instagram



代表取締役 西村 英子 氏

注目企業

「ICTの学びで人生に彩りを」をスローガンに掲げる、株式会社IRODORI。ビジネス向けパソコン教室や子ども向けプログラミング教室などを手がけるエールICTアカデミーの運営に加え、昨年8月、高校卒業資格を取得できるふくいICT中央高等学院を開校しました。開校の経緯と今後の展望を代表取締役の西村英子氏に伺いました。

株式会社IRODORI

高卒資格とICTスキルを修得 未来に希望を持たせる通信制高校

コロナ禍で増えた不登校 子どもの選択肢のひとつに

2023年8月、広域通信制・単位制高校である学校法人中央国際高等学校の提携サポート校として、高校卒業資格とパソコンICTスキルが同時に修得できるふくいICT中央高等学校が開校しました。同校を立ち上げ、学院長を務めるのは、24年のパソコン講師歴を誇るトップインストラクターの西村氏です。

西村氏はEC事業を手がける会社で長年パソコンインストラクターとして活躍し、100冊以上の教材を執筆。2020年に、ビジネスマンと子どものITスキル底上げを目的

としてパソコン教室を開業します。

3・5坪の小さな空間から始まった教室は、4年間で生徒数が180人を超える人気スクールに成長し、

2024年3月に面積が15倍となる3階建ての校舎へ移転。移転の際は、ふくい産業支援センターのコンサルタントに補助金の相談などに乗ってもらいました。

生徒が増えしていく中で、「コロナ禍を経て、子ども向けの教室で不登校の子が増えてきたと感じました」と振り返る西村氏。不登校の子どもから「学校には行きたくないけど、パソコン教室に来るのは楽しい。」と話を聞き、「彼らの受け皿を作つて、高校卒業資格を取らせることができた



2階フロアの教室は、午後は通信制高校、夕方からは子どもプログラミング教室

ら」と考えるよう。そこで広域通信制の中核国際高等学校の存在を知り、福井サポート校として開校しました。

信制の中核国際高等学校の存在を知り、福井サポート校として開校しました。



株式会社 I RODORI

同社HPは
コチラ！



所在地：福井市二の宮2丁目27-31

代表者：代表取締役 西村英子

事業内容：パソコン・ロボットプログラミング・

スマートフォン教室エールICTアカデミーの運営

電話番号：0776-58-7184

URL：<https://www.ell-ict.com/>

ICTの実践的な学びで 大学進学を目指す生徒も

通信制高校は基本的に毎日登校する必要はなく、レポート作成や単位認定試験で高校卒業資格を取得できます。県内に6校ある中で、同校は一人ひとりに合わせたパーソナルカリキュラムと、パソコンなどデジタルスキルに特化した学びが大きな特長です。

「長年インストラクターをやってきて思うのは、やっぱりこの時代パソコンやデジタルスキルがないと通用しないということ。子どもたちが自信を持って、社会で生き抜く力を身



3階の自習室。生徒数が増え、来年度はここが第2教室となる。

に付け、人生が豊かになるお手伝いをしたい」と西村氏は語ります。生徒が入学願書と一緒に提出する作文にも、「社会に出てから役に立つパソコンの勉強ができるのも魅力に感じた」という記述が必ずあるそうです。

現在、同校の生徒数は7名。通学日は週2回で、レポート以外に、ビジネス能力認定のサーティファイやプログラミング能力検定といった資格取得に向け学習します。ICTの実践的な学びに触れ、今年の個人面談で2名の生徒が情報系の大学進学を希望したといいます。「不登校だった生徒達から『もっと学校に行きたい』という声もあがっていて、来年度から週4日通学の大学進学コースを作ろうと思っています」と笑顔が広がります。

生徒がゆっくり羽を休め 自分に自信をつける場所

不登校の生徒を母親のように見守る西村氏。「同じ年頃の子どもがいることもありますが、根本は自分。私は母子家庭で育ち、学歴もお金も何の価値もない自分が嫌で、不登校の生徒の中にある劣等感に自分を重ねるところがあります」と打ち明けます。

に付け、人生が豊かになるお手伝いをしたい」と西村氏は語ります。生徒が入学願書と一緒に提出する作文にも、「社会に出てから役に立つパソコンの勉強ができるのも魅力に感じた」という記述が必ずあるそうです。

現在、同校の生徒数は7名。通学日は週2回で、レポート以外に、ビジネス能力認定のサーティファイやプログラミング能力検定といった資格取得に向け学習します。ICTの実践的な学びに触れ、今年の個人面談で2名の生徒が情報系の大学進学を希望したといいます。「不登校だった生徒達から『もっと学校に行きたい』という声もあがっていて、来年度から週4日通学の大学進学コースを作ろうと思っています」と笑顔が広がります。

西村氏は高校卒業後に就職するも、できないことから逃げ続けて職を転々とし、単身海外に渡った後、帰国してパソコンインストラクターの募集に応募し、合格しました。「食らいついて勉強し、パソコンができるようになり、自信がつきました。学校運営を通して、子どもたちに人生はいつからでもスタートできることを伝え続け、これまで育ててくれた福井に恩返しができたら」と語ります。

多彩な経験を重ね、「学びを絶対に挫折させない」を信条とする西村氏。今後、生徒数の増加と大学進学に対応するため教師を増やし、自身も「大学に入つて教員免許を取ります」と決意を語ります。

全員が高校生活を楽しめるよう、

生徒の声を反映したたこ焼きパーティや修学旅行も計画。「何らかの傷を負う子どもたちが、羽を休めながら自分探しができる第3の居場所でありたい」とほほ笑みました。



ふくいICT中央国際
高等学校のパンフレット

よろず支援拠点 経営Q&A

相談して良かった！ 初めてのブランドづくりと知財の関係

よろず支援拠点ではあらゆる経営のご相談をお受けする相談場所として、特許権、実用新案、意匠権、商標権等の知的財産権に関するご相談にも対応しています。

今回ご紹介した「商標登録」に関しては、INPIT 福井県知財総合支援窓口（以下 INPIT）とリモート会議を併用した相談対応とさせていただきました。

○商標登録までの流れ

知的財産（知財）とは、人間の知的活動によって生み出されたアイデアや創作物など、経済的な価値を持つものを指します。商標登録は同様の商品名やサービス名が混同されることを防ぐための保護措置です。

登録商標は商品・サービス名に使われますが、サービス名には店名等も含まれます。

使用している商品名や店名を含むサービス名を商標登録することは、他人の商標権による使用差し止めや損害賠償請求されること等のリスク回避にもつながります。

■商標登録・出願までの大まかな流れ

1. 先行商標調査（他社の商標登録の状況を調査する）
2. 出願（出願書類を作成し、特許庁へ出願する）
3. 審査（特許庁の審査を受ける）
4. 登録査定（もし登録できない理由がある場合は拒絶理由通知が送付される）
5. 登録料納付（登録料を納付すると商標権が発生する）

商標登録は自社の商品・サービスを区別するために用いられるものですから、商標出願に当たっては、最初に相談者が検討している商標に類似しているものがないかを確認することが重要なポイントとなります。

ここでは、特許情報プラットフォーム（以下 J-platPat）を利用して、希望する商標=ブランド名を確認いたしました。

○先行商標調査で類似商標が見つかってしまってからの対応

相談者が希望する商標を J-platPat に入力したところ、200 余りの関連する商標が見つかり、当初予定していた商標（＝ブランド名）での登録は難しいとの判断になりました。

通常であれば類似商標が見つかったことで、「希望する商標では登録できない、異なる商標を再検討」するケースとなりますが、よろず支援拠点では、もう一步進んだ対応をさせていただきました。

相談解決の裏側をご紹介すると、商標登録でよくご相談されるものとして「一般名称ですが登録できますか？」といった内容が寄せられます。

例えば「りんご」を指定商品として、商標に「アップル」を使用しても、商品やサービスの出所を特定することがで



相談の概要

新商品開発に伴い自社ブランドの立ち上げを検討している。ブランド名は決めているが、ブランドとしてのHPでの発表を近日に控えており、商標登録について至急相談したい。

きず「目印」として機能しないばかりか、権利者以外のりんごの生産者や小売店が「りんご」について「アップル」と表示できなくなり、大きな混乱が生じてしまうため、出所識別ができるない商標登録は認められていません。しかし、「〇〇〇アップル」といったように、特徴的な単語「〇〇〇」を前後に追加することで、登録が認められる可能性がでてきます。

今回は、この点に着目した上で相談者と再検討に入り、結果として相談者が希望するブランド名の名残を残す形で登録することができました。

ちなみに J-platPat による調査は誰でも可能ですが、使う予定の商標が検索で該当しなかった、もしくは該当したからと言って、すぐに商標登録の可否を断定するものではありません。検索の仕方／検索ワードの設定次第では、異なる検索結果が出たりするため、正確に調べるために一定のノウハウが必要です。商品名、サービス名、店名等の商標登録は、お気軽によろず支援拠点にご相談下さい。

お役立ちツール紹介

○特許庁 HP
初めてだったらここを読む
～商標出願のいろは～



○特許情報
プラットフォーム
(J-platPat)



特許情報プラットフォーム（J-PlatPat）は、特許庁が提供するオンラインサービスで、特許、実用新案、意匠、商標に関する情報を検索・閲覧できるプラットフォームです。このサービスを利用することで、特許や商標の出願状況や審査経過などの詳細な情報を無料で確認することができます。

○福井県知財
総合支援窓口
(INPIT)



「福井県知財総合支援窓口」は、中小企業等の特許・商標等の知的財産に関する悩みや課題に応じるための窓口であり、様々な支援を行っています。

福井県よろず支援拠点では、専門家が各種経営相談に無料でお応えしています。お気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ先



福井県よろず支援拠点

TEL:0776-67-7402
E-mail:yorozu@fisc.jp



賃上げに取り組む事業者への支援が強化されています!

【令和6年度業務改善助成金】

国は最低賃金引き上げに伴う支援を強化しています。今回は厚生労働省が所管する**業務改善助成金**について、ご紹介します。業務改善助成金は、事業場内で最も低い賃金（事業場内最低賃金）を30円以上引き上げ、生産性向上に資する設備投資を行った場合に、その設備投資等にかかった費用の一部を助成する制度です。

しかし、適用条件や助成金額の計算方法は複雑ですので、ご検討される場合はぜひ一度、相談窓口にご相談されることをお勧めします。

【助成金と補助金の違いは?】

補助金は適用条件を満たしても、事業内容などで他社との優劣が審査され、必ずしも交付決定となるとは限りません。一方で助成金は適用条件さえ満たせば助成金の支給を受けられます。

【業務改善助成金とは】



申請期限: 令和6年12月27日

【対象となる設備投資など】

助成対象事業場における、生産性向上に資する設備投資等が助成の対象となります。

経費区分	対象経費の例
機器・設備の導入	・ POS レジシステム導入による在庫管理の短縮 ・ リフト付き特殊車両の導入による送迎時間の短縮
経営コンサルティング	国家資格者による、顧客回転率の向上を目的とした業務フロー見直し
その他	顧客管理情報のシステム化

総合相談コーディネーター



相談対応日
隔週木曜日

得意分野
創業支援、マーケティング、経営革新、事業承継など

加藤 永俊 氏
(中小企業診断士)

私がご相談にお答えします!

オンライン(ZOOM)相談可

業務改善助成金は対象となる労働者数のカウントや助成金額の計算方法、対象経費・事業者の特例など、わかりづらいポイントが多くあります。申請にお悩みの方は、ぜひ私にご相談ください。

その他にも創業からマーケティング、M&Aなどの事業承継まで企業の成長段階に応じて幅広い支援のご提案ができます。また、各種補助金の申請支援もできます。

まずは「総合相談窓口」までお気軽にご相談ください！

嶺北 《事前予約制》

0776-67-7421

※コーディネーターの当番日は右記の総合相談窓口HPからご確認いただけます。事前予約の方優先の対応となりますのでご予約をお勧めします。

相談日時：毎週月曜日～金曜日 9:00～17:00

相談場所：福井県産業情報センター 3F
総合相談窓口
(坂井市丸岡町熊堂 3-7-1-16)

総合相談窓口
ホームページ



嶺南 《事前予約制》

0770-22-0031

相談日時：毎週 火曜日・水曜日・金曜日
9:00～17:00

相談場所：アクアトム 2F 嶺南サテライトオフィス
(敦賀市神楽町 2-2-4)

※水・金曜日：総合相談コーディネーター、火曜日：よろず支援拠点のコーディネーターが相談対応しております。
ご予約がない場合は、企業訪問等で不在にしている場合がありますので面談希望の場合は事前予約をお願いします。

**相談予約は
こちらから！**



14 FACT vol.66

ふくいデジタル推進アライアンスの発足を記念したイベントを実施しました!

県内産業のDX推進を支援するため、本県支援機関等による新たな連携と協力のプラットフォームとして5月に発足した「ふくいデジタル推進アライアンス」を記念し、バックオフィス×トランスフォーメーションをテーマとしたイベントが7月3日に開催されました。本イベントには100名以上の方が参加し、本県産業におけるDX推進の注目の高さを示すイベントとなりました。

行政とIT企業の有識者から見る中小企業のDX

杉本知事による開会挨拶で始まった本イベントは、第1部の基調講演に経済産業省 商務情報政策局 情報技術利用促進課 デジタル高度化推進室長の河崎 幸徳 氏をお迎えし、「データで見る中小企業のDX実態とDXの進め方」をテーマにお話しいただきました。同省がまとめた「DX支援ガイド」を例に、ふくいデジタル推進アライアンスのように自治体、地方公共団体、支援機関、地方金融機関、専門家等が連携することが、DX支援に有効であることをご説明いただきました。

第2部の基調講演では、サイボウズ株式会社 代表取締役社長の青野 慶久 氏をお迎えし、「地方からDXでリープトップを起こす」をテーマにお話しいただきました。中小企業におけるDX推進の大きな課題として人材不足が挙げられるが、システムエンジニアをすぐに採用したり育成することは難しくても、「デジタル活用人材」には若年層でなくてもなれるというお話が印象的でした。

県内企業が語るDXへの取組みの本音

第3部では、(株)ザカモア、(有)あんしん村グループ、(株)ニットクの3社にご登壇いただき、各社の取組みをそれぞれご紹介いただいた後、当支援センターのDX戦略アドバイザーの伊本 貴士 氏にコメントをいただきながら、DXに関するパネルディスカッションを行いました。各社とも、実際に取り組んだDXの内容は様々でしたが、そこには経営者の想いや方針があり、そこに向かって取り組まれていることがよく分かるパネルディスカッションだったと思います。

また、「DXを進めるにあたり、具体的に何か数値目標として掲げたものはありますか?」という質問に対し、各社が「具体的にこれという目標を定めてから取り組み始めたわけではない」という点で共通していたのも印象的でした。向かうべき方向はしっかりと定まっているが、明確に目標を決めずにまずやってみて、結果を見て修正しながら取組みを継続していくのが、中小企業がDXを成功させる秘訣なのかもしれません。



本アライアンスは、このようなイベントを今後も実施していく予定です。
また、本アライアンスの趣旨に賛同し協力できる、賛同会員の入会を隨時受け付けています。
詳しくは下記までお問い合わせください。

受付窓口
お問い合わせ先

(公財)ふくい産業支援センター(ふくいDXオープンラボ)

TEL : 0776-67-7404 E-mail : dxlab@fisc.jp

ウェブサイト▶

<https://www.fukui-dxlab.com/fdaa/>



数値をわかりやすく表現する5つのポイント

数的センス向上 ベーシック講座

数字に対する苦手意識を払拭し、「数字を使って論理的に考え、データや数字を使って的確に表現できる」ようになるための基礎力を身につけます。数値データの中から必要な情報を読み取り、わかりやすく表現するためのポイントをわかりやすくお伝えします。

こんな方におすすめです！

- 数字やデータに基づいた説得力のある資料を作りたい方
- データを表やグラフで分かりやすくまとめる力をつけてみたい方



日 時：8月21日(水) 13:30～16:30

会 場：オンライン研修

受講料：16,500円(消費税込)

講 師：オルデナール・コンサルティング(同)
ビジネス数学インストラクター 篠崎 菜穂子 氏

説得力を高め 問題解決に活かす

ロジカルシンキング基礎

ロジカルシンキングを身につけることで、発言に説得力が増すことはもちろん、問題解決のアイデアを合理的・論理的・効果的・効率的に導き出すことに繋がります。この研修では、様々なフレームワークを活用した演習を豊富に行うことで実践力の向上を図ります。

こんな方におすすめです！

- ロジカルシンキングとは
- 構造化のテクニック
- ロジカルシンキングで業務課題を特定する
- プロセスマネジメントで課題を明確にする



日 時：9月4日(水) 9:30～17:00

会 場：福井県中小企業産業大学校

受講料：22,000円(消費税込)

講 師：(株)ワークセッション
代表取締役 鈴木 泰詩 氏

短時間で大事な話を的確に伝える！

「エレベーターピッチ」スキル習得セミナー

エレベーターピッチは、社内外での商談・提案・プレゼンテーションをはじめとした様々な場面で活かせるスキルです。実習を交えたトレーニングを重ねることで、短時間で簡潔に要点を伝えるとともに、相手にもっと聞きたいと思わせるためのトーク術を磨きます。

◆ プログラム内容

- チャンスを作る必殺技「エレベーターピッチ」とは
- 瞬間でもっと聞きたいと思わせるカギ
- シンプルに一瞬で伝える要素
- エレベーターピッチの型を作り、コンパクトに話す

日 時：8月30日(金) 9:30～16:30

会 場：福井県中小企業産業大学校

受講料：22,000円(消費税込)

講 師：(株)ネクストステージ・プロデュース
代表取締役 三神 結衣 氏

本質を捉える力を身につける！

管理者のためのマネジメント力強化セミナー

組織の目的を実現するのが管理者の役割です。そのためには、組織と仕事をやりくりするマネジメント能力が求められます。この研修では、マネジメントの原理原則や本質を捉える考え方を、ケーススタディを通して具体的に学びます。

こんな方におすすめです！

- 管理能力を磨き、組織力強化につなげたい方
- 業績を向上させるための「原理原則」を学びたい方



日 時：10月3日(木)・4日(金) 9:30～16:30

会 場：福井県中小企業産業大学校

受講料：33,000円(消費税込)

講 師：(株)コンサルティング・フェア・ブレイン
代表取締役 関根 利和 氏

お問い合わせ先



人材育成部(福井県中小企業産業大学校)

福井市下六条町16-15

電話0776-41-3775 E-mail manabi@fisc.jp

お申込みはホームページから

中産大

検索



バストをつぶさず
快適にフラットにする

バストフラットインナー
Nstyle



2023グッドデザイン賞

女性用インナー Nstyle ハーフトップ/タンクトップ | 株式会社エル・ローズ

ファッションやジェンダーアイデンティティの多様化に対する理解が進みつつある現代でも、『胸は大きく、美しく、形よく見せてこそ！』という価値観はいまだに根強く残っています。私たちは、現在の下着の選択肢に“多様性のグラデーション部分のニーズに応える商品”がないことに着目し、さまざまな理由でバストに悩む方に着用いただけるよう、ジェンダーレスなデザインと着用後のシルエット、幅広いサイズ展開と快適性にこだわり、心と体のどちらにも心地いいデザインと着心地を実現しました。

『バストをフラットにすること』と『長時間快適に着用できること』の両立を実現する“バストホルダーパネル”。苦しさの原因となる『バストを潰す』というアプローチをせずに、フラットに見せる方法を模索し生まれた、オリジナルのバストを支えるパーツです。バストが触れる面にはオーガニックコットン天竺を使い、柔らかタッチでバストを守ります。日常使いとしてはもちろん、バストシルエットを際立たせたくない装いに使える1枚に仕上げました。また、パネルが見えない畳み方やシンプルな包装材で、商品が下着と分かりにくくし、購入そのものへのユーザビリティ向上も目指しました。

【審査委員の評価】

担当審査委員 | 廣川 玉枝 服部 滋樹 濱田 芳治 本多 沙映 Catharina Widjaja

近年、多様なジェンダーアイデンティティへの理解が進むにつれて、胸を小さく見せるための下着が普及してきている。この製品は機能性に加え、ジェンダーレスな見た目で、身につける人の心にも体にも寄り添うデザインを実現している。細部の処理と素材選定が丁寧に行われており、補正下着特有の締め付け感が少なく、長時間ストレスフリーで着用できる設計になっている。機能性と快適性に加え、着用時のシルエットも美しく、その完成度の高さが評価された。

デジタル推進を目指せ! ふくいDXオープンラボ勉強会レポート

ふくい産業支援センターが運営する「ふくいDXオープンラボ」(以下、「DXラボ」)では、県内中小企業のデジタル活用を推進するための窓口相談等を実施しています。今回は、DXラボの活動のなかから勉強会／研究会についてご紹介します。

①ひとり情報システム担当のための相談／交流会

開催日時：令和6年7月9日（火）14:00～15:30

情報システム担当者による意見交換会

中小企業の情報システム担当者は、少人数(1～2名)で業務を担当することが多く、業務内容も多岐にわたるため、担当者の負荷が過多になつたり、適切な相談相手が不足することで問題解決が難しく悩みを抱えている方が少なくありません。本交流会では、このような方々を対象に、専門家を交えて自社が抱える情報システム関連の課題を共有し、今後の組織運営やスキルアップにつなげることを目指して実施しました。



ひとり情報システム担当のための相談／交流会の模様

悩みの共有と解消の場に

勉強会では、ファシリテータが進行役となり、参加者自身が持つ業務内容や課題・悩みの洗い出しをした後、それぞれが抱えている悩みをカテゴリー分けしつつ「共通する悩みがないか」「他社はどのようにしているか」など自由に情報共有を行いました。課題は、「セキュリティ確保」「後任の育成」「経営陣や社内とのコミュニケーション」など多岐にわたり、終了時間を過ぎても、熱い意見交換は続いていました。

②メタバース体験会 for ビジネス（メタバース研究会）

開催日時：令和6年6月25日（火）18:00～20:00

【VRメタバースの体験】と【ワールドの作成体験】を体験

メタバースの活用が注目を集めていますが、ビジネスでの活用は進んでいないのが実態です。今回の研究会では、メタバースのビジネス活用を検討するため、福井県立大学の村田准教授にご協力をいただき、【VRメタバースの体験】と【ワールドの作成体験】を体験しました。



メタバース体験会 for ビジネスの模様

メタバースプラットフォーム「cluster」の環境構築と体験

参加者にはノートPCを持参いただき、国内大手のメタバースプラットフォーム「cluster」の環境構築をしていただきました。環境構築ができた方からチュートリアルを行つてclusterを体験。参加者が過去に作ったワールドに集まって、展示しているものを見学したり、ジェスチャーやボイスチャットを体験しました。

その後、他にも企業や大学が作っているワールドを見に行くなど、メタバースを利活用している事例を学んだ後、フリーで意見交換の行いビジネス活用の可能性について認識を共有しました。

このように、DXラボでは、1ヶ月に1回のペースで勉強会／研究会を実施しています。今回ご紹介したイベントは、これからも定期的に開催していく予定です。開催予定は、DXラボのホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。

お問い合わせ先

ふくいDXオープンラボ

公式サイト：<https://www.fukui-dxlab.com/>

県内企業における人材育成や個人の方の学び直しを全力サポート!
オンライン学習サービス



ふくい NEW 経済ビジョン
Fukui NEW Economic Vision

Udemy business 受講者を募集しています!

社会人基礎力・経営マネジメント・簿記会計・スピーチプレゼン力・英語学習・IT資格などビジネスに必要となるスキルやノウハウが好きな時間に好きな場所で好きな講座を学べます!

対象者 県内企業の従業員(育児・介護休暇の方も歓迎)、個人事業主、求職者、学生等

受講期間 ①【上期】受講決定後～令和6年10月31日(木) 17時

②【下期】令和6年11月1日(金)～令和7年2月28日(金) 17時

受講料(各期) 10,000円(税込)

※ただし、県の「女性活躍推進企業」に登録されている企業がお申し込みの場合、7,500円(税込)になります。

※福井県の受託事業により、受講料の一部を補助しています。

※受講期間に関わらず、定額となります(受講料の月割りはございません)。

申込方法 下記先までメールまたはFAXにて申込書類をご提出ください。

※申込書類等詳細につきましてはHPをご確認ください。

<https://www.fisc.jp/fiib/on-demand.html>

備考 ・受講期間開始後でも、随時申込は可能です。

・1企業あたりの申込ライセンス数は最大20ライセンスまでとなります。

詳細・申込はコチラ



お問い合わせ先 (公財)ふくい産業支援センター 人材育成部(福井県中小企業産業大学校)
TEL: 0776-41-3775 FAX: 0776-41-3729 E-mail: manabi@fisc.jp

IT研修(6年度後期) のご案内



令和6年度後期IT研修のお申込みを募集中です!

Officeソフトの操作スキルやWebコンテンツ制作スキル、Webマーケティングノウハウなど、業務に役立つ研修をはじめ、近年、企業管理者に必須となるセキュリティ対策研修をご用意しました。

公的機関ならではの低廉な料金で受講いただけますので、貴社の人材育成にぜひお役立てください。

※詳細は「企業情報メール便」の折り込みチラシをご覧ください。

お問い合わせ先

(公財)ふくい産業支援センター
IT研修担当 新産業支援部

TEL: 0776-67-7411 E-mail: pckouza@fisc.jp



サテライト講座の

受講者を募集しています!

サテライト講座は、東京の教室で行われている研修を、ふくい産業支援センターの特設ブースで受講できる新しい研修スタイルです。これまで首都圏でしか受講できなかつた専門的な研修を、公的機関ならではのリーズナブルな料金で実施します。ぜひ、社員教育やリスクリングにご活用ください!

※お申込みは「福井県内企業」または「福井県内の個人」に限定させていただきます。

《コンテンツ提供》

(株)富士通ラーニングメディア(FLM)

お問い合わせ先

(公財)ふくい産業支援センター
新産業支援部

TEL: 0776-67-7411 E-mail: pckouza@fisc.jp



ランチタイムコンサートを開催します♪

福井県産業情報センタービル1階エントランスロビーにてランチタイムコンサートが開催されます。(主催:ソフトパークふくい協同組合) どなたでも無料でご入場いただけますので、ぜひご参加ください(退席可・途中参加)。遠方からご来場の方は福井県産業情報センタービル第2駐車場をご利用ください。

日 時 開演予定 9月14日(土)

12:10～12:50(約40分間)

場 所 福井県産業情報センター

演奏者 アンサンブル "COLORS"

クラリネット 南部 匠恵 氏

サックス 片山奈々愛 氏

マリンバ 平岡 愛子 氏

マリンバ 山崎 智里 氏



お問い合わせ先

ソフトパークふくい協同組合事務局

TEL 0776-67-7360



次世代技術国際発信 支援事業助成金の募集を行っています。

「次世代技術国際発信支援事業」は、国際感覚を有する技術者育成のため、福井県内中小企業が海外における学会・展示会などへ若手技術者(45歳以下)を派遣する際の経費を助成する事業です。

助成対象経費は海外の学会や展示会等への派遣に要する費用(旅費、出展費用等)が対象です。オンライン/実施併催も含みます。助成金の額は対象経費の1/2以内とし、1申請当たり30万円を上限とします。

詳細はHPでご確認ください。

お問い合わせ先

(公財) ふくい産業支援センター

オープンイノベーション推進部 ネットワーク推進室

TEL 0776-55-1555

貸オフィスのご案内

スタートアップエリアの

入居者を募集しています。

福井県産業情報センタービルの貸オフィスの入居者(スタートアップエリア)を募集しています。IT分野で創業をお考えの方、ITを活用して新しい事業を立ち上げたい方向けのスペースです。ぜひご検討ください。

利用期間 6か月間。ただし、認められれば1回のみ更新ができます。(最長で1年間利用可能です)

施設概要 シェアオフィス型、パーティションタイプ
24時間、365日利用可能 WiFi環境完備
オフィスの詳細はホームページをご覧ください。見学も受け付けておりますので、お気軽にお問合せください。

お問い合わせ先

(公財) ふくい産業支援センター

新産業支援部

TEL 0776-67-7411



男性育休促進企業奨励金の 支援メニューを拡充し、 申請しやすくなりました!



<主な変更点> (令和6年4月から見直し)

- ・男性従業員が連続5日以上の育休を初めて取得した企業に、30万円を支給する「育休スタート奨励金」を創設
- ・「育休応援奨励金」について、男性従業員が通算15日以上の育休を取得した企業に、代替職員を雇用しない場合でも、15日あたり10万円を支給
- ・申請時に提出が必要な書類を削減等
対象事業主などの詳細は県ホームページをご覧ください。

お問い合わせ先

福井県 健康福祉部 こども未来課

こども応援・子育て環境G

TEL 0776-20-0341

E-mail kodomomirai@pref.fukui.lg.jp



話題の新スポット巡礼

県内企業が打ち出した気になる新スポットにFACT編集担当が訪問。その空間に込められたコンセプトやこだわり、企業の想いをお届けします。

No.38



Kazane

心地よい風の音とともに
会話の楽しめるカフェを

国の重要伝統的建造物群保存地区に指定されている若狭町熊川宿の一画にひっそりと佇むカフェがあります。今年3月に同地区内の旧逸見勘兵衛家から店舗を移転し営業を始めた、“Kazane”さんにお邪魔しました。

元々は旧逸見勘兵衛家で平日のみの営業でしたが、「土日祝日も営業をしたい！」と補助金を活用し自宅1階を改装。大きなダイニングテーブルを囲うように10席の椅子が立ち並ぶ店内では店主の小山 千秋さんこだわりのインテリアとともに季節の食材をふんだんに使用した料理を堪能することができます。特に日替わりのおばんざいが食べられるランチや鯖の和風キーマカレーが人気だそうで、県内外から訪れた観光客の憩いの場として賑わいを見せています。「ただ街並みを散策するだけでなく、そのときどきに出会う人との会話を楽しんでほしい。同じテーブルに居合わせたお客様同士が会話する様子や、お客様との何気ない会話をしている時間がこの仕事をやっていて良かったと感じる瞬間です。」と顔をほころばせながら小山さんは語りました。

活用事業：福井県おもてなし産業魅力向上支援事業助成金

ご来店
お待ちしております！



Kazane (かざね)

所在地：三方上中郡若狭町熊川34-40

営業日：火・水・土・日（不定休あり）

URL：https://www.instagram.com/find.and_feel_kazane/

皆様の声を

お聞かせください!!

情報収集と情報発信、企業・イベントPR等に! 「ふくいナビーふくいの企業支援施策を見つけるためのポータルサイト」 をご活用ください

(公財)ふくい産業支援センターでは、県内企業の皆さまの経営に役立つ情報を集めたポータルサイト「ふくいナビ」を運営しております。「ふくいナビ」では、下記のようなサービスを提供しておりますので、ぜひご活用ください。

イベント情報や公募情報などをまとめて見られる!

県内中小企業支援機関による講演会・セミナー等のイベント情報や、国・県等による助成金等の公募情報など、経営に役立つ情報が盛りだくさんです。



メールマガ、メーリングリストなどを無料で提供!

企業と顧客、あるいは企業同士でのコミュニケーション・ツールとして利用できる、メールマガジンやメーリングリスト等の機能を、無料で提供しています。

県内企業の情報を自ら発信!

県内中小企業の皆さまが、自社で開催するイベントや新製品の情報などを自ら発信することができます。

毎週月曜日、「ふくいナビ」の情報の中からタイムリーな情報をお届けするメールマガジン『週刊!ふくいナビ情報』を配信しています。配信をご希望の方はメールアドレスをご登録ください。

ふくいナビ運営事務局

お問い合わせ先 [(公財)ふくい産業支援センター One to One サービス推進部]
TEL.0776-67-7425 E-mail info@fukui-navi.gr.jp



本誌「F-ACT(ファクト)」を活用して会社をPRしよう!

企業情報メール便



販路開拓のチャンス!

本誌にチラシを同封できます



●次回実施号

VOL.67 9月25日発行予定

チラシ提出締切日:9月18日(水)

チラシ1,700部をご提出
(持参または配送) お願いします。

料 金	同封するチラシ・パンフレットのサイズ	料金(税込)
	A4判以下のチラシ	6,600円
	A4判超~A3判以下のチラシ (二つ折にしてA4判以下のサイズにすること)	9,900円
	A4判以下のパンフレット (10ページ程度まで)	13,200円

※チラシ・パンフレット1種類当たり1回分の同封料金です。

ご利用を検討の方は、事前に、電話または電子メールにてご連絡ください。
1号につき約10社まで受け付けます。

なお、申込状況および掲載内容によりお断りする場合があります。

お問い合わせ先 (公財)ふくい産業支援センター One to One サービス推進部 F-ACT 担当
TEL:0776-67-7425 e-mail: kouhou-g@fisc.jp

本誌に関するお問い合わせは



公益財団法人 ふくい産業支援センター <https://www.fisc.jp/>

One to One サービス推進部

TEL 0776-67-7425/FAX 0776-67-7429/E-mail: kouhou-g@fisc.jp

〒910-0296 福井県坂井市丸岡町熊堂第3号7番地1-16 (福井県産業情報センタービル内)

E-mail : kouhou-g@fisc.jp

編集後記

こんにちは!最後まで読んでいただきありがとうございます。

本号では、「デジタルを学ぶ!デジタルで遊ぶ!」と題して、私たちの生活に身近なデジタル化やデジタル技術に関する事業を取り組まれている企業の皆様へインタビューして参りました。取材を通して、様々な業種や分野においてデジタル化していることを知るとともに、デジタル技術の進歩に驚きました。ふくい産業支援センターでは、IT研修、DXの専門家派遣やその他相談等、DX推進に関する事業を行っております。是非ご利用ください。今回お届けした内容がお役に立てば幸いです。

取材にご対応いただいた皆様には、改めて御礼申し上げます。

また、9月12日~15日にかけてクマンドウェジタルアライブ2024を開催いたします。12日・13日をビジネスSIDEと題しITやDXに関するセミナー、14日・15日をおもしろSIDEとし、ドローン体験、eスポーツやナレーションセミナー等を開催します。概要はp9-10をご覧ください。

次号の発刊は9月下旬を予定しております。引き続きご愛読のほど、よろしくお願いいたします。

安価な料金！手続き簡単！

福井県産業情報センター 貸出施設のご案内

福井県産業情報センターでは、イベントホールや会議室、パソコン実習室などの貸出を行っています。講演会等や各種会合、IT研修などの会場としてご利用をお願いいたします。

※ 所在地：坂井市丸岡町熊堂第3号7番地1-16

※ 有線 LAN、無線 LAN（共有回線）などを完備。

マルチホール・各会議室



マルチホール

横約16m、奥行き約17mのイベント向けホールです。

【主な利用例】

- ・教室形式や観覧席形式での講演会やセミナー
- ・新商品の発表など小規模な展示会 など

50～100名規模
ならばコチラ！



会議室（4室）

各種会議やセミナー、オンライン会議等で利用できる会議室です。

【主な利用例】

- ・少人数での会合や各種説明会
- ・10～50名程度でのセミナー など

少人数～
50名まで
ならばコチラ！

パソコン実習室・マルチメディアサポートセンター



パソコン実習室（A／B）

実習室AおよびBそれぞれに、Windows 対応のパソコンを受講者用20台、講師用1台整備しています。

【主な利用例】

- ・少人数から20名までのIT関連の社員研修 など



マルチメディアサポートセンター

4K対応のビデオ編集室や収録スタジオなどが設置されています。

【主な利用例】

- ・4K対応の各種撮影や動画編集（ノンリニア）
- ・自社製品などの紹介動画の収録 など

各施設の詳細な内容、利用料金、利用申込方法などは、ふくい産業支援センターのWebサイトをご覧ください。
<https://www.fukui-iic.or.jp/>



問い合わせ先

fisc 公益財団法人 ふくい産業支援センター 総務企画室

TEL 0776-67-7414 FAX 0776-67-7419

E-mail shisetsu@fisc.jp